

第三次医療施設 60分カバー率

1. 鳥取県の現状

鳥取県内の第三次医療施設は、鳥取市の「県立中央病院」と米子市の「鳥取大学付属病院」です。
 県内の二大都市が第三次医療施設 60分カバーエリア内に含まれており、**カバー率は 86% (平成 15 年度値)** となっています。
 しかしながら、倉吉市を中心とした**県中央部はカバーエリアの空白地帯**であり、医療サービス面で格差が生じています。



2. 昨年度の成果(達成度報告)

平成 16 年度は名和・淀江道路、中国横断自動車道姫路鳥取線、北条倉吉道路などの事業について整備を推進しましたが、新規供用箇所がなかったため、第三次医療施設 60分カバー率の値は変わりませんでした。

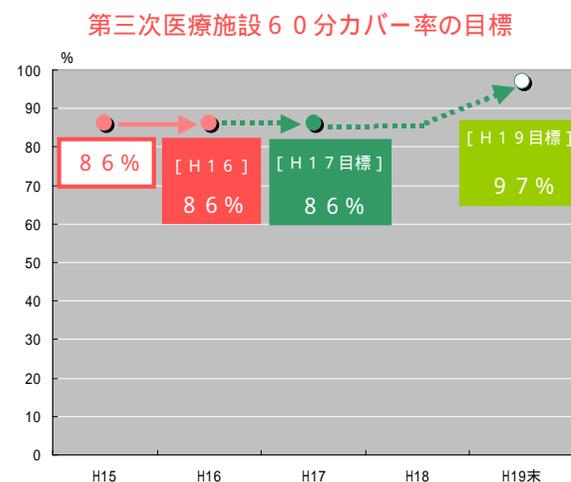
各事業の進捗状況は P. 42 ~ 43 参照

3. 本年度のとりくみ(業績計画)

平成 17 年度は、青谷・羽合道路アクセス部、生山道路の供用が予定されており、これらの整備により第三次医療施設までの所要時間が短縮されます。

「TOPICS 青谷・羽合道路アクセス部」P. 12 参照

本年度も第三次医療施設 60分カバー率の向上が期待できる事業箇所の早期供用を目指して整備を推進します。



平成 17 年度供用予定箇所は既にカバー圏に含まれているため、第三次医療施設 60分カバー率の値は変わりません。

TOPICS ～ 青谷・羽合道路アクセス部の開通～

- ・青谷・羽合道路の青谷ICと国道9号のアクセス部が本年度供用します。
- ・供用後は、走行時間の短縮や安全性の向上が期待できます。また青谷ICから県立中央病院までの所要時間も短縮し、地域の「安心」が一層高まるといえます。



期待される効果

第三次医療施設(鳥取県立中央病院)までの所要時間が短縮

アクセス部の供用により、長尾峠を通行せずに青谷・羽合道路から鳥取市方面への移動が可能になります。そのため、第三次医療施設(鳥取県立中央病院)までの所要時間が約4分短縮されるとともに、移動時の安全性、安定性が向上します。



4. 平成19年度目標達成に向けた展望

第三次医療施設60分カバー率の平成19年度目標値は97%であり、平成17年度から11%の増加を目指します。



整 備 例

～ 北条湯原道路 北条倉吉道路 ～

・北条倉吉道路は、鳥取県、岡山県内の主要な幹線道路網と一体となり、鳥取県中部と岡山県北部の地域連携を促進する北条湯原道路の一部を担う道路であり、産業の活性化や住民の利便性向上が期待されています。

H16の事業内容 事業の進捗率

下神高架橋、米里3号橋、北尾地区改良工の工事促進

82%

(工事の状況)



H17の事業内容 事業の進捗目標

下神高架橋(改良工、舗装工) 延伸部:下神ボックス、改良工の工事促進

98%